

TEPIA 6th EXHIBITION
**ADVANCED
 VEHICLE**
 21世紀へのクルマ学

開催期間
 1993年5月18日[火]—12月17日[金]
 会場
 TEPIA(機械産業記念館)
 開館時間
 平日10:00—18:00/土曜・日曜・祝日10:00—17:00/月曜休館
 主催
 (財)機械産業記念事業財団
 後援
 通商産業省/運輸省/建設省
 特別協力
 (社)日本自動車工業会/(社)日本自動車部品工業会
 (財)日本電動車両協会/(財)機械システム振興協会
 協力
 工業技術院 機械技術研究所/東海大学工学部通信工学科
 (財)自動車走行電子技術協会/(財)石油産業活性化センター
 (財)道路新産業開発機構/(社)自動車工業振興会
 (社)日本損害保険協会/(社)日本蓄電池工業会
 アイシン精機(株)/いすゞ自動車(株)/(株)カンセイ/京セラ(株)
 (株)CRC総合研究所/(株)システム計画研究所
 昭和シェル石油(株)/スズキ(株)/(株)ゼクセル
 (株)ソリッドレイ研究所/ダイハツ工業(株)/タスクネット(株)
 (株)東海理化電機製作所/東京ガス(株)/東洋ゴム工業(株)/東京電力(株)
 トヨタ自動車(株)/トヨタ博物館/日本板硝子(株)
 日本電装(株)/日本電池(株)/日産自動車(株)
 日産ディーセル工業(株)/ビー・エム・ダブリュー(株)/日野自動車工業(株)
 フォルクスワーゲン アウディ日本(株)/富士通(株)
 富士通テン(株)/富士重工業(株)/(株)フジテレビジョン
 (株)ブリヂストン/古河電池(株)/本田技研工業(株)
 マツダ(株)/三菱自動車工業(株)
 メルセデス・ベンツ日本(株)/矢崎総業(株)
 ヤマハ発動機(株)/(株)ユアサコーポレーション
 (五十首順)



機械産業記念館

〒107東京都港区北青山2-8-44 TEL:03-5474-6123(受付)
 営団地下鉄銀座線外苑前駅下車徒歩5分・神宮球場となり



TEPIA第6回展示事務局

東京都新宿区住吉町1-16 フジエイト TEL:03-3226-8356

PVSとSSVS

21世紀を目前に、情報化・高齢化・国際化がすすむ社会の中で自動車交通の安全性・効率性・環境性の諸問題に対し、ハイテクを駆使した新しい自動車走行の形を2つ紹介致します。

PVS(Personal Vehicle System)

パーソナル・ビークル・システム

PVSは1987年から1991年にかけて研究された、自動車の自動運転システムです。路上の白線を検知し障害物を回避しながら、あらかじめ指定された目的地まで、最適な経路を通して最大30km/hで自立走行する車両システムです。

SSVS(Super Smart Vehicle System)

スーパー・スマート・ビークル・システム

SSVSは20~30年後を想定し、情報処理、通信、制御技術を総合的に自動車に適用した、安全で快適な「人と社会に高度に調和した自動車システム」を目指した高知能化走行システムで、今後具体的な研究が進められるものです。

それでは、SSVSの代表的なシステムを紹介します。クルマ同志が車間通信等でお互いに情報交換を行い、円滑な



走行環境を創る『協調走行システム』。従来の車両の1/3~1/4サイズの超小型車で渋滞・駐車場不足緩和など、効率的な交通システムを実現する『超小型車システム』。緊急時での自動運転、非常時での自動制御等『緊急回避等積極的運転支援システム』。この他インフラに注目した『高知能交差点システム』。トラック物流に注目した『インテリジェント物流情報システム』など、インテリジェンスがクルマ・ヒト・インフラを統合するシステムです。

アクセス・ブレイン・シアター

自動車産業や自動車の歴史を中心に、世界の名車紹介、最新技術の実験映像をご覧下さい。

作品タイトル(上映時間)	出展団体・企業
ザ・シートベルト(42分)	(社)日本損害保険協会
くるまが変わる技術がかわる(25分)	(社)日本自動車工業会
日本の自動車産業(19分)	(社)日本自動車工業会
トヨタ博物館—マイカー—今も昔も(40分)	トヨタ博物館
時を超えた名車と、ともに(20分)	トヨタ博物館
自動車の世紀(28分)	(社)自動車工業振興会
自動車・冒険時代(25分)	(株)昭和シェル石油
リサイクル(8分)	ビー・エム・ダブリュー(株)

開催期間中の催しもの

開催期間中、TEPIAでは下記のイベントを予定しております。奮って御参加下さい。

月・日	内容
7月1日(木)	国際シンポジウム『クルマ・未来の移動と情報伝達』
9月9日(木)	第1回セミナー『低公害車の未来像』
10月14日(木)	第2回セミナー『クルマ環境の安全性』
11月4日(木)	第3回セミナー『クルマの快適性を求めて』
7月31日(土)	夏休みイベント
8月8日(日)	「テピア サマーフェスティバル'93」 —クルマと遊ぼう!—

ADVANCED VEHICLE

21世紀へのクルマ学



INTRODUCTION

イントロダクション



約一世紀にわたり、人とクルマが歩んできた歴史を、貴重な映像資料のオムニバス手法で綴り、12面マルチビジョンで放映いたします。日本の自動車産業の草創期を代表するヒストリック・カーを“21世紀へのクルマ学”の原点として、ク

ルマの先端技術から「ヒトとクルマのかかわり」をご覧ください。

ECOLOGY

クルマ環境学



地球の温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊等への対策、また廃物のリサイクルなど、環境へ配慮する先端技術を紹介いたします。

ガソリンの代替エネルギーの代表である電気を使用したクルマ、太陽光から得たエネルギーを利用す

るソーラーカーの原理説明、希薄燃料エンジンのシステムなど、実機をご覧ください。



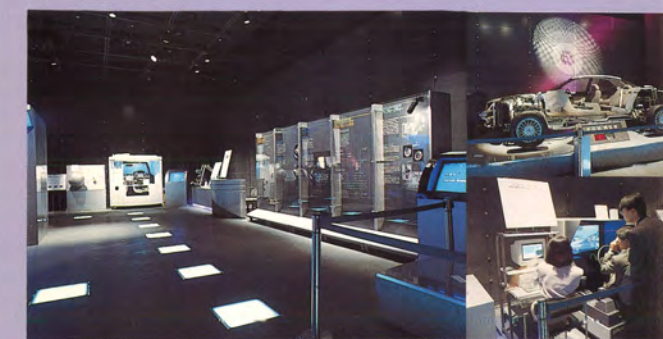
ようこそテピア展示へ、

本展示では来たるべき21世紀を見据えて、日本の自動車産業が更なる飛躍発展を期し、アメニティー、エコロジー、安全等を基本命題として、それら諸問題を解決する為のテクノロジーとそこから予測される新しい自動車の姿“アドバンスト・ビークル”さらに

その社会システムのビジョンを明らかにし、少しでも多くの人に“新たなヒトとクルマの共生”をテーマに21世紀のクルマ学に直に触れ、関心を持っていただく場づくりが目指せればとを考えます。

SAFETY

クルマ安全学



クルマの構造、運転技術、道路環境など様々な視点から研究開発されている危険回避の技術を紹介し“安全”を考えます。衝突時のショックから運転者を守るエアバッグをはじめ、クルマに搭載されている安全対策技術を、

2分の1カットの実車モデル、普段みることのない実車フレームなどでご覧いただけます。さらに、運転時のさまざまな場面や状況を設定したシミュレーターで安全な運転を体験できます。

TOMORROW

クルマ未来学



クルマの将来像に対し、安全と環境保全対策を2つの大きな柱としてアプローチする次世代への技術を紹介いたします。路面に設置されたバーコードから交通情報、道路情報を走行中のクルマに送るシステムなど、新都市交通システムの原

理を紹介いたします。さらに、走行中のクルマの現在位置、目的地までの距離を容易に知ることができるGPS(グローバル・ポジショニング・システム)、ウィンドーの透明性を調節できる瞬間調光ガラスなどを体験できます。